

#### 4.4 セミナー活動

平成30年度に開催された「サイバーサイエンスセンターセミナー」の内容を掲載する。

##### ○第10回 サイバーサイエンスセンターセミナー

テーマ：The 13th International Workshop on Security (IWSEC2018)

開催日：平成30年9月3日（月）～5日（水）

会場：東北大学さくらホール

参加者：94名（うち、外国人10名）

概要：このワークショップは、情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会（CSEC）及び電子情報通信学会情報セキュリティ研究会（ISEC）が主催する、セキュリティ分野における日本を開催地とする国際会議で、今回で13回目となった。

採択論文による7セッション及び2つの招待セッションを合わせて、計24件の最新の研究成果の発表が行われ、参加者による活発な議論、意見交換が行われた。招待セッションでは、本学本間尚文教授とタイ マヒドン大学 ヴァサカ准教授にご講演いただいた。

##### ○第11回 サイバーサイエンスセンターセミナー

テーマ：The 5th International Conference on Information and Communication Technologies for Disaster Management (ICT-DM2018)

開催日：平成30年12月4日（火）～7日（金）

会場：東北大学さくらホール

参加者：100名（うち、外国居住者28名）

概要：この国際会議は、災害管理用情報通信技術(ICT)に関する最新研究・技術・経験等を共有し、今後の課題や取組について意見交換、議論を行うことを目的としており、今回で5回目の開催となった。

会議では、米国アリゾナ州立大学 Guoliang Xue 氏、東北大学 小林広明氏らによる基調講演が行われたほか、効率的な災害管理システムの構築などに向けた活発な意見交換が行われた。

## ○第12回 サイバーサイエンスセンターセミナー

テーマ：中学生のためのCGプログラミング講座 ―3D ゲームプログラミングを学ぼう―

開催日：平成30年12月26日（水）～27日（木）

会場：東北大学サイバーサイエンスセンター

参加者：6名

概要：わが国の小中学生の多くは、テレビゲームに夢中になっている。しかし、テレビゲームが高度な情報技術や数学的アルゴリズムに基づいて作られていることを理解している児童・生徒は、残念ながら少ないと思われる。この講座では、テレビゲーム、映画、アニメ、インターネット、バーチャリアリティなどで多用されているコンピュータ・グラフィクス（CG）の構成方法やCGの基礎となる数学的アルゴリズムを、やさしいプログラミング技術を習得し、楽しみながら理解することで、日本が得意としているCGやテレビゲームを作るための工学技術や情報技術に興味を持っていただくことを目的としている。この講座に参加することによって、最近問題となっている子供たちの理科離れ・数学嫌い・ものづくりへの無関心を少しでも防ぐとともに、単なるゲーム・オタクになってしまうのではなく、数学的に高度な技能と幅広い文化的教養をもった未来のゲーム・クリエイタの卵が生まれるきっかけができることと期待される。

## ○第13回 サイバーサイエンスセンターセミナー

テーマ：第29回 Workshop on Sustained Simulation Performance (WSSP)

開催日：平成31年3月19日（火）～20日（水）

会場：東北大学サイバーサイエンスセンター

参加者：158名（うち、外国人34名）

概要：海洋研究開発機構、ドイツ シュトゥットガルト大学高性能計算センター及び NEC との共催により、国際的に活躍している計算科学の研究者及びスーパーコンピュータ設計者を招いて、高性能・高効率大規模科学計算に関する最新の研究成果の情報交換及び今後のスーパーコンピュータの研究開発のあり方について議論を行った。

はじめに、文部科学省研究振興局計算科学技術推進室 坂下室長から、Society5.0を見据えた我が国のHPC政策、ならびにポスト京コンピュータの研究開発事業に関する講演があった。その後、日本、ドイツ、ロシアの研究者から、アプリケーション開発、HPCシステム開発と性能評価、システム運用技術など最新のHPC技術動向に関する幅広い分野の25件の技術講演があった。